

# けんこう静岡

## 第118号

平成26年  
(2014年)  
7月1日(火)

季刊 1部50円 年200円  
(送料税込)

発行所  
公益財団法人 静岡県予防医学協会

http://www.shsa.net/

(静岡事務所) 〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43 (054) 278-7716  
 (藤枝健診センター) 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 (054) 636-6461  
 (総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 (054) 636-6460  
 (東部事務所) 〒410-0007 沼津市西沢田729-11 (055) 921-1934  
 (西部検査所) 〒435-0006 浜松市東区下石田951 (053) 422-7800  
 発行責任者 石黒 満 印刷 池田屋印刷株

## 予防接種に対する県の取り組み

〓 定期予防接種対象疾患の追加と風しん抗体検査の実施について



静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課長 奈良雅文

奈良雅文

### 〇 予防接種法の改正

予防接種法は昭和23年の制定以来幾多の改正を経ています。平成24年には厚生労働省の「科学審議会感染症分科会予防接種部会」において、予防接種制度の見直し、疾病区分の分類などについて提言がなされ、この提言を受け、平成25年4月に、予防接種法が改正されました。

### 〇 主な改正内容

- ・ 予防接種の対象疾患の追加
- ・ 副反応報告制度の法定化
- ・ 予防接種の総合的な推進を図るための計画策定

### < 予防接種の対象疾患 >

#### A 類 疾 病

- 〇 主として集団予防を目的
- 〇 ジフテリア・百日せき、ポリオ・破傷風、麻疹・風しん、日本脳炎、BCG、ヒブ、小児肺炎球菌、ヒトパピローマウイルス、水痘
- 〇 9割を国が地方交付税で手当

#### B 類 疾 病

- 〇 主として個人予防を目的
- 〇 高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌
- 〇 3割を国が地方交付税で手当

提言では、7ワクチン（子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌）について、広く接種を促進することが望ましいとされ、平成25年度から子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌が追加され、本年10月から、水痘と成人用肺炎球菌が追加される予定となっています。また、おたふくかぜとB型肝炎についても財

源が確保され次第追加される予定です。

### 〇 平成26年度に追加されるワクチン

前記のとおり、平成26年10月から水痘（水ぼうそう）と成人用肺炎球菌の2ワクチンについて市町村の実施する定期接種に追加されます。対象者や条件については下表のとおりとなります。

#### △ 水痘（水ぼうそう）

子どもによく見られる急性熱性発疹症のひとつで、全身に小水疱（水ぶくれ）が生じる病気。水痘・帯状疱疹ウイルスによって発病します。年間推定患者100万人のうち、400人程度が入院し、20人程度が死亡していると推定されています。

#### △ 肺炎球菌

肺炎の主要な原因菌で、インフルエンザなどのり患後に続発性感染症（二次感染症）として発症することが多い疾病です。近年は乳幼児以外に70歳以上の高齢者において増加傾向にあり、肺炎は、高齢者の死因の第三位となっています。

### 〇 定期予防接種の市町間相互乗入

静岡県内では、平成15年4月から被接種者への便宜及び接種率の向上を図るため、居住市町を越えて広域的に予防接種が可能となる制度を導入しています。今回の追加ワクチンについても従来と同様に市町間の相互乗入を行うべく予定されています。

### 〇 風しんの流行と対応

平成25年は、風しんが平成20年の全数把握調査の開始以降、全国、本県ともに最大の流行となりました。これに

伴い、先天性風しん症候群の流行の恐れが高まったため、風しんワクチン接種への助成を行う市町に対する緊急助成を平成25年7月から実施しました。

この流行により、平成25年の先天性風しん症候群は、全国で32人報告されましたが、県内での発生事例はありませんでした。

また、今回の流行の中心は、20代から40代の者でしたが、この世代は、風しんの定期の予防接種を受ける機会がなかったことや未接種者の割合が高く、風しんの再流行が懸念されています。そこで、静岡県が実施主体となり平成27年3月31日まで、妊娠を希望する女性やその家族を対象とした風しん抗体検査を無料で実施しています。（詳細は疾病対策課又は各保健所までお問い合わせください。）この検査体制の整備により、風しんの感染予防及びまん延防止を図り、先天性風しん症候群の予防と出産に対する不安感の軽減を図っていきます。

### 〇 結びに

成人用肺炎球菌ワクチンが定期接種化されると、高齢者の肺炎による入院数の減少等により、5千億円を超える医療費の削減効果があると推計されています。

県では水痘（水ぼうそう）、成人用肺炎球菌とともに、ワクチン接種による疾病予防の重要性を啓発してまいります。関係各位におかれましても、対象となる乳幼児、高齢者に対する適切な接種が行われるよう、ご協力をお願いいたします。

### — 成人用肺炎球菌 —

- 【接種対象者】  
①65歳の者。  
②60歳以上の者であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者（インフルエンザの定期接種対象者と同様）。
- 【接種方法】  
〇肺炎球菌ワクチンを、1回筋肉内又は皮下に注射する。
- 【経過措置】  
〇70歳、75歳・・・（以下5歳刻み）の者（平成26～30年度）。  
〇平成25年度末に100歳以上のもの（平成26年度）
- 【その他】  
〇既に肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある者は対象外とする。ただし、接種対象者のうち②の者を除く。

### — 水痘 —

- 【対象年齢】  
〇生後12月から生後36月に至るまでの間にある者。
- 【接種方法】  
〇水痘ワクチンを3月以上の間隔をおき、合計2回皮下注射する。
- 【標準的な接種期間】  
〇生後12～15月に至るまでに初回接種を行い、追加接種は初回接種終了後6～12月の間隔をおいて1回行う。
- 【経過措置】  
〇生後36～60月に至るまでの間にある者を対象とし、1回注射する。ただし、平成26年度限りとする。
- 【その他】  
〇既に水痘に罹患したことがある者は接種対象外とする。  
〇任意接種として既に水痘ワクチンの接種を受けたことがある者は、既に接種した回数分の接種を受けたものとみなす。

### — 風しん —

- 【先天性風しん症候群】  
免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風しん症候群（CRS）と総称される障害を引き起こすことがある。臨床病状としては、先天性心疾患、難聴、白内障が三大疾患となる。その他には、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球など多岐にわたる。（国立感染症研究所風しんQ&Aから）
- 【風しんの抗体保有状況】  
20歳未満では男性・女性ともにおおむね90%以上を維持している。一方20歳以上では、女性はほとんどの年齢群で90%以上であるが、男性は多くの年齢群では90%を下回り、30代、40代では同年齢の女性と比較して10ポイント以上低い抗体保有率である。特に男性の35～39歳群の抗体保有率は73%と低い値となっている。（国立感染症研究所2012年度感染症流行予測調査から）

### 風しんの流行状況

年	風しん患者報告数		先天性風しん症候群の報告数	
	全 国	静岡県	全 国	静岡県
平成20年	294	17	0	0
平成21年	147	1	2	0
平成22年	87	3	0	0
平成23年	378	4	1	0
平成24年	2,392	18	4	0
平成25年	14,357	149	32	0
平成26年 (第20週まで)	196	4	8	0

年一回は健康チェックを!

健康はあなたの財産です  
すこやかな明日のために

# 人間ドック 脳ドック

総合健診センター  
ヘルスポート  
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8  
TEL 054-636-6460  
FAX 054-636-6465  
☎ 0120-39-6460